

肝臓の病気の中で最も多いのはウイルス性肝炎です。ご自身の健康状態を把握するために、一度肝炎ウイルス検査を受けましょう。ウイルス性肝炎は慢性化するとすぐには症状が出ないため、肝炎ウイルス検査を受けないと感染の有無は判断できません。下記のチェックリストに当てはまらなくても一度は肝炎ウイルス検査をお勧めします。

また、一度肝炎検査で陰性が確認された場合は、チェックリストに当てはまる項目が新たに追加されなければ、再度検査を受ける必要はありません。

保健

センター
通信

市健康管理課(保健センター)
☎内線1742～1744

肝炎ウイルス感染危険度チェックリスト

※1つでも当てはまる方は感染の可能性がありますので肝炎ウイルス検査を受けましょう。

B型肝炎ウイルス

- ☐ 家族に B 型肝炎キャリアーがいる。
- ☐ 新たに性的な関係を持つ相手ができた。
- ☐ 長期に血液透析を受けている。
- ☐ 妊婦
(妊婦健診で受けることになっています)

*フィブリノゲン製剤・血液凝固因子製剤とは…
人の血液の成分を原料とした医薬品の一種で、大量出血時の止血などに医療機関で使用されてきました。現在厚生労働省は、当時これらの製剤を納入した医療機関を公表し投与された人に C 型肝炎ウイルス検査を受けるよう呼び掛けています。

C型肝炎ウイルス

- ☐ 平成4年(1992年)以前に輸血を受けたことがある(出産時を含む)。
- ☐ 大きな手術を受けたことがある。
- ☐ フィブリノゲン製剤*(フィブリノゲンのりとしての使用を含む)を投与されたことがある。
- ☐ 血液凝固因子製剤*を投与されたことがある。
- ☐ 長期に血液透析を受けている。
- ☐ 臓器移植を受けている。
- ☐ 薬物を乱用している。
- ☐ 入れ墨をしている。
- ☐ ボディーピアスをしている。

肝炎豆知識

Q 肝炎の原因は何ですか？

A 肝炎の原因は、日本の場合、約8割が B 型や C 型のウイルスによる感染で、残りはアルコールによるものが多くなっています。

Q 肝炎にはどのようなものがありますか？

A 大きく急性肝炎と慢性肝炎に分かれます。急性肝炎のほとんどはウイルス感染によるものです。感染後、潜伏期間を経て発病。全身のだるさ、食欲不振、吐き気などの症状が現れます。C 型肝炎の場合は気付かないうちに慢性化し、慢性肝炎になることがあります。

ウイルスの種類	感染源	感染経路	特徴
A 型 (HAV)	患者の便で汚染された生水、生魚介類	経口(食物)	急性肝炎のみ。一度かかると免疫によって抗体ができるため慢性化しない。
B 型 (HBV)	血液	血液(輸血、注射針、性行為、母子間感染など)	母子間感染では持続感染(キャリアー化)することが多いが、現在はワクチン接種などにより予防できる。
C 型 (HCV)	血液	血液(輸血、注射針、血液製剤など)	症状は比較的軽いですが、約70%が慢性化し、いったん慢性化すると自然治癒が難しい。



肝炎 検査

を受けたこと ありますか？

ウイルス性肝炎安心ガイド



ウイルス性肝炎を予防するポイント

A 型肝炎

- ・上下水道が整備された日本では少ない。
- ・海外旅行では、生水、氷、生ものは感染の危険があるため、加熱したものを食べる。

B 型・C 型肝炎

- ・血液や分泌物で感染するため、歯ブラシ・カミソリは共用を避ける。
- ・他人の血液は素手で触らない。
- ・性行為はB型肝炎だけでなくHIVウイルス(エイズ)をはじめとした性感染症感染の危険があるため、適切な感染予防対策が必要。

このようなことでは感染しません

- くしゃみ、せき
- 握手
- 入浴
- 食器やコップの共有
- 隣に座るなど日常的な接触

- 現在の輸血用血液はウイルスチェックが行われているため、輸血による感染の心配はありません。
- 医療機関では血液を介しての感染を予防するため、使い捨て器具(注射針など)の使用や、胃カメラなどは十分な消毒に注意が払われています。
- 母子感染については、ウイルス感染が確認された母親から生まれた子どもには、免疫グロブリンとワクチンが投与されることにより、ほとんど心配なくなりました。

肝炎ウイルス検査を受けるには…

竜ヶ崎保健所で検査や相談を受けることができます(無料・予約不要)。

検査日 毎週火曜日午前9時～11時、毎月第2火曜日午後5時～7時※祝日を除く。

検査方法 血液検査※ただし感染の危険があつてから3カ月以上経過しないと、正確な検査結果が出ない場合があります。

※肝炎治療については、助成制度が該当になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

問い合わせ 竜ヶ崎保健所 ☎0297-62-2367